

『事例研究：公益法人の資産運用』

～ A法人(旧来型の資産運用)とB法人(新しい運用モデル)～

(表面より)

多くの公益法人では事業の安定遂行という目標達成の為には資産運用、運用収入が欠かせません。しかしながら、このままでは収益確保やリスク管理が立ち行かなくなっている以上、従来の資産運用の考え方と運用手段について再検討する必要性を感じていらしやる法人やその運用担当者も少なくはないのではないでしょうか。

この度、『事例研究：公益法人の資産運用』～A法人(旧来型の資産運用)とB法人(新しい運用モデル)～と題し、今後の公益法人の資産運用の考え方、ノウハウ、事例紹介、法人間の情報交換、交流も交えた実践的な内容での講座を開催いたします。公益法人の資産運用に真摯に取り組む役職員の皆様を対象として、新任からベテランまで広く法人資産運用に関わる役職員の皆様のご参加をお待ちしております。

講義内容

1. 公益法人の資産運用を取り巻く環境
2. A法人(旧来型の資産運用)とB法人(新しい運用モデル)の比較事例
 - I. 運用内容の比較
 - II. 運用実績の比較
 - III. 運用収入の見通しの比較
 - IV. 価格変動リスクの見通しの比較
3. A法人(旧来型の資産運用)とB法人(新しい運用モデル)の結果が大きく異なる理由とは?
 - I. 旧来型の資産運用が繰り返しトラブルに陥ってしまう考え方と投資行動のパターン
 - II. 安定収入が生まれる仕組み
 - III. 「価格変動」リスクを抑える工夫
 - IV. 運用収入を予見可能にするノウハウ
 - V. 「価格変動」リスクを限定する仕組み
 - VI. 組織として資産運用の透明性、説明性、一貫性、継続性を確保する仕組み
4. B法人(新しい運用モデル)における5つの基本的な考え方とそれに対する具体的な対応策
 - I. 資産運用の世界では何時、何が起こるか、誰にもわからない
 - II. 最悪の事態を常に想定し、それに備えておく
 - III. 情報や金融商品は簡単に陳腐化し、それを繰り返す
 - IV. より普遍的なものを基準、拠り所として運用の計画、執行、リスク管理に当たる
 - V. コントロールできること/出来ないことを区別、コントロールできることだけに集中する
5. 今後の公益法人の資産運用の在り方
 - I. リスク・リターンの判断基準
 - ① 社債 ②劣後債 ③仕組債 ④外債 ⑤REIT ⑥株式 ⑦投資信託 ⑧ファンドラップ・SMA
 - II. 今後の公益法人の資産運用の在り方

講師:梅本洋一

インディペンデント・フィデュシヤリー株式会社 代表取締役
(公財)公益法人協会 公益法人資産運用研究会 委員・事務局主査
法人資金運用管理コンサルタント

国際基督教大学教養学部語学科 卒業
野村證券株式会社 入社
株式会社アセットマネジメント・ラボラトリー入社
インディペンデント・フィデュシヤリー株式会社 設立

【セミナー・研修講師】

- ◆ (公財)公益法人協会主催セミナー
 - ・ 資産運用集中講座”(2006)
 - ・ シンポジウム:公益法人の資産運用のあり方を考える(2010)
 - ・ 資産運用連続講座(2015)
 - ・ 資産運用連続講座(2016)
- ◆ 高等教育情報センター主催セミナー
 - ・ 学校法人の資金運用・管理体制の構築(2006)
 - ・ サブプライム・ショックと学校法人資金運用(2007)
 - ・ 大学法人資金運用のリスク管理と説明責任(2008)
 - ・ 年金基金に学ぶ、大学法人資金運用のリスク管理のあり方(2008)
 - ・ 大学法人の資金運用・管理体制の構築(2009)
 - ・ 事例研究にみる大学資産運用の最前線(2010)
- ◆ (公社)私学経営研究会主催セミナー
 - ・ 学校法人の資産運用とその管理体制(2011)

【執筆】

- ◆ 『公益法人の資産運用』(共著) (公財)公益法人協会(2009)
- ◆ (公財)公益法人協会発行『公益法人』寄稿論文
 - ・ 非営利法人経営の「目的遂行」と資金運用の受託者責任(2006)
 - ・ 公益法人資産運用アンケート調査結果(2008)・公益法人の資産運用を考える(2010)
 - ・ 公益法人実務担当者の資産運用入門①～⑯(2011～2012)
 - ・ 続・公益法人実務担当者の資産運用入門①～⑧(2015)
 - ・ 公益法人資産運用への緊急提言①～④(2016)
- ◆ NPO法人 学校経理研究会発行『学校法人』寄稿論文
 - ・ 学校法人の資金運用・管理体制の構造的な限界(2006)